

R4年度 学校評価書

令和5年3月27日

幼保連携型認定こども園
新聞杉の子幼稚園園長

学校評価委員長

清水 真

1 本年度の重点目標をたくましく生き生きと活動できる子を主軸に、つながりのある保育教育をしていく
自然の中でいろいろ経験させのびのびと育てる

2 自己評価に対する学校関係者評価

※ A 十分成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果は感じられなかった

評価対象	評価項目	具体的取組	自己評価	園としての改善策	学校評価委員の意見	評価
保育の計画性	園の教育理念・教育方針の理解 新幼稚園教育要領の理解・教育課程の編成 指導計画の作成・環境の構成・保育と計画の評価・反省	全教員が新しい事に対しての理解度を確立する	B	学年の話し合いをよくして、急な対応でも困らないように努める	このままの対応で vik	A
保育の在り方、乳児、幼児への対応	健康と安全への配慮・乳児、幼児のみとりと理解 指導とかかわり 保育者同士の協力・連携	声を掛けお互いに協力して確認をしっかりとる	B	全体を見ながらも一人一人が責任を持ち健康と安心安全に努める	このままの対応で vik	A
教師としての資質や能力・良識・適正	専門家としての能力・良識・義務 組織の一員としての在り方 新しい事やまわりを感じ取れる感性・アンテナ	新しいことを取り込み各自の資質の向上を図る	B	職員それぞれが意識を高め共有する	このままの対応で vik	A
保護者への対応	情報の発信と受信・協力と支援 守秘義務の遵守・対応上のマナー・良識 クレームへの対処の仕方	保護者に正しく内容を理解してもらうように努める	B	情報が正しく理解してもらえるように発信の仕方を考え、細かく連絡する	このままの対応で vik	A
地域の自然や社会とのかかわり	地域の自然・人々とのかかわり 小学校との連携 地域への開放と支援	外に出て地域の自然を知り地域の人にふれ、学ぶ	A	地域の方への挨拶をしつかりし、地域に溶け込み地域を知る	このままの対応で vik	A
研修と研究	研修・研究への意欲・態度・遊具・教材に関する研修・研究 園内の環境に関する研修・研究 認定研修こども園としての研修・研究	園内研修と外部の研修をし個人的にも努力する	B	時間を作り学年、全体の話し合いの時間を作る。リモート研修が多いが積極的に受講する	このままの対応で vik	A

今後に向けての学校の考え(学校関係者評価を受けて)

指導計画や評価反省をしやすいように書類や保育の振り返り、反省ができる時間を作る。学年での話し合いをしつかりして次の保育につなげていけるようにする。子どもの安心安全のためにバスの乗降や日々の保育の中での落ちがないように、職員全員の意識を高めていく。小学校とのかかわりを増やし楽しみを持って進学できるようにする。自然の中の良い環境にいるので、園舎建て替えでの運動場のない分地域へ出て行って自然の中でいろいろと学ぶ。リモートでの研修も積極的に参加の機会をふやしていく。